



学校だより

第3号 ジャカルタ日本人学校
令和8年(2026年)6月29日
校長本川里美
TEL: 021-745-4130

小さな手と大きな背中が、一つになる時 ～体育祭が育むもの～

校長 本川 里美

今、校内は熱気に包まれています。いよいよ7月11日、「体育祭」が開催されます。授業中、グラウンドや体育館から聞こえてくる元気な掛け声や、ダンスの音楽、そして力強い足音。子どもたちの本気と情熱がひしひしと伝わってきます。本校の体育祭は、小学部1年生から中学部3年生までが共に創り上げる、かけがえのない学びの場です。競技の勝ち負けだけでなく、練習の過程で「相手の頑張りを認め、お互いを思いやる心」を育むことを大切にしています。年下の子どもたちは、きびきびと動く中学生の逞しい背中に憧れを抱き、中学生は、一生懸命についてくる小学生を優しくリードする。この縦のつながりの中で、子どもたちは思いやりと責任感を自然と学んでいきます。

特に各団を引っ張るリーダーたちの姿には、日々たくましさを感じています。みんなをまとめる姿は、言葉や工夫し、笑顔を決やさず、一步ずつ前に進む立派な「学校の顔」です。一人ひとりが自分の役割を見つけ、誰かのために一生懸命になる経験こそが、子どもたちの心を大きく豊かに成長させてくれます。今年度の体育祭を文字通り「熱く」盛り上げ、各団を率いる3人の応援団長から、熱いメッセージが届いていますのでご紹介します。

☆ 黄組団長

みんなが待ちに待った体育祭。年間行事の中でも特別なこの舞台。そして、僕たち中学3年生にとっては、仲間と共に駆け抜ける最後の夏です。しかし、その中でも「優勝」が一番の思い出になる。僕はそう考えています。黄組のスローガンである「光輝万丈」は、中3応援団員で新しく作った「光輝燦然」と「気炎万丈」を合わせた造語で、「一人ひとりが光り輝き、みんなで一丸となって優勝を目指す」という意味が込められています。6年間、勝利を掴めなかった黄色組。でも、だからこそ今年の優勝には意味があります。全力で戦って、優勝して、今年こそ最高に輝く黄色になりましょう！必ず最高の思い出になるはずです！

☆ 赤組団長

今年の赤組のスローガンは「赤団奪首!!」です。「赤団奪首!!」とは赤組全員で優勝を奪いにいく【奪首】と勝利へ駆け抜ける【ダッシュ】この二つがかけられています。赤組が最後に優勝した2024年。その時の優勝は青組との総合優勝でした。赤組の単独優勝は2019年まで遡ります。でも赤組全員が同じ目標に向かって力を合わせれば、必ず単独優勝をつかみ取ることができると信じています!!
優勝するためには、一人一人の「優勝したい」「勝ちたい」という気持ちが欠かせません。応援団も演舞や応援の準備を重ね、最高の体育祭にできるよう努力しています。赤組全員で心をついにし、これまでにない最高の思い出と単独優勝を勝ち取りましょう！

☆ 青組団長

いよいよ体育祭本番が近づいてきました。皆さんは、「青波翠天」という言葉からどのような景色を思い浮かべるでしょうか。このスローガンには、青い海の上をさっそうと天高く鳥のように羽ばたこうという意味が込められています。私たちは本番で、見ている人にスローガンにある「青・波・翠・天」を一つ一つ感じられるような演技をつくり上げます。ぜひその一つ一つに注目しながら見ていただけたらうれしいです。私はこの体育祭を通して、青組だけでなく、参加する全ての人に最高の思い出を届けてみせます。仲間と過ごすこの一瞬一瞬が、いつか振り返ったときかけがえのない思い出になるはずです。どの組の皆さんも全力を尽くし、悔いの残らない最高の体育祭にしましょう！

終わりに、今年の体育祭も素晴らしい感動のドラマが生まれる予感がしてなりません。子どもたちが互いに支え合い、仲間とともに光り輝く姿を、ぜひグラウンドでご覧いただき、温かい拍手とご声援を送り届けていただければ幸いです。ジャカルタの空に、子どもたちの歓声と笑顔があふれる最高の1日となるよう、教職員一丸となってサポートしてまいります。